

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586017001	科目番号 / Subject code	05860170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 13531_005		
授業科目名 / Subject	コミュニケーション基礎講座 (コミュニケーション基礎実践) / Fundamentals and Practice of Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	s-toyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	大学教育イノベーションセンター		
担当教員TEL / Tel	2115		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>本科目は「コミュニケーション基礎講座」のモジュール?科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要なとされる基礎能力の育成をめざします。</p> <p>皆さんは大学や社会で求められるコミュニケーション能力とはどのようなものだと思いますか? 大学や実社会では問題に対して一つの正答があるとは必ずしも限りませんし、回答が複数あることも数多くあります。そのため、大学以降では問題の要点を理解・判断したうえで、自分が考えた意見を人に伝えたり、自分と異なる意見を持った相手とも関係を構築するなどといったコミュニケーションのための様々な能力が求められます。</p> <p>この科目では、「読み」「書き」を中心に、プレゼンテーションやディスカッション等の基礎的な技能を高め、さらにソーシャルメディアの可能性や情報化社会が及ぼす影響について理解することによって、大学や社会で求められるコミュニケーション能力を全体的に高めていくことをめざします。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>[ ]内は、特に対応する全学モジュール目標の番号です)</p> <p>(1)与えられた情報の要点を理解し、要約することができる【本質理解】[?、?]</p> <p>(2)調べたいテーマについて適切な方法で資料検索・調査ができる【情報収集】[?、?]</p> <p>(3)正しい引用、注記方法を用いて論理的なレポートが書ける【計画立案力】。[?、?、?]</p> <p>(4)人の発表や意見を聞いたうえで、自分の意見をまとめ、述べられる【役割理解】。[?、?]</p> <p>(5)建設的かつ創造的に議論ができる【意見の調整・原因追究】。[?、?、?、?]</p> <p>(6)ものの見方、考え方には多様性があることを理解する【課題発見力】。[?、?、?]</p> <p>(7)自分自身で学習の習得状況を確認・分析・評価することができる【メタ認知】[?]</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な理論・スキルの説明と演習を行います。さらに、授業内容の定着を図るため授業外の時間に、授業内容および授業内で行われるグループ・ディスカッションのまとめレポートを書いてもらいます。</p> <p>また、最終授業の後に全体の総括レポートも求めます。</p> <p>期末試験は実施しません。</p> <p>1回の授業は以下の流れで進めます。</p> <p>(1)コミュニケーションに必要な理論・スキルを学ぶ</p> <p>(2)学んだ理論・スキルについてのワークおよびグループ演習を行う</p> <p>(3)授業外の時間に、授業の内容などについてのレポートを作成し提出</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>第1回の授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明し、さらに自分自身の現在の評価を行います。</p> <p>その後第2回?第6回、および第9回?第14回までは、ライティングやプレゼンテーションなどコミュニケーションに必要な基礎力について学びます。</p> <p>第7回?第8回は、現代のコミュニケーションに欠かせないツールとなったインターネットについて学びます。</p> <p>第15回はここまでの学習をまとめて総括レポートにする準備を行い、まとめと振り返りを行います。</p>		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークまたはグループ・ディスカッションをもとに学習を深め、適宜復習とレポートの提出を求めます。		
キーワード / Key word	読解力、論理的思考、批判的思考、情報リテラシー、ライティング、ディスカッション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>成績評価は、課題およびリフレクションペーパーの評価で行います。評価は提示するルーブリックを用いて行います。</p> <p>また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>?出席は8回以上</li> <li>?最終課題以外の課題提出は5回以上</li> <li>?最終課題の提出</li> </ul> <p>(課題については、期限外の提出は認めません)</p>
受講要件(履修条件)/Requirements	
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考(URL)/Remarks(URL)	<p>全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てること。教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。</p>
学生へのメッセージ/Message for students	<p>この科目では読み書きを中心としたコミュニケーション能力を実践的に育成していくため、授業外での学習や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。</p>

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586027701	科目番号 / Subject code	05860277
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	コミュニケーション基礎講座 (対人関係の社会学) / Sociology of Interpersonal Relationship		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部・経済学部・薬学部・水産学部・多文化社会学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部新館4階455		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指します。ちなみに本科目はモジュール?科目「コミュニケーション基礎実践」で培った諸能力を応用するものとして構成しています。</p> <p>私達はこの世に生まれてから死ぬまで、直接的にせよ間接的にせよ、必ず誰かとの関係の中で生きています。その中には親、きょうだい、親戚、友人、恋人や、学校や職場などで出会う人々、そしてまた直接は出会わない赤の他人も含まれます。</p> <p>この授業では、成長するにしたがって広がっていく対人関係の中で身についていく考え方・ふるまい・関係性について理解を深めること、そしてまた、自分自身の経験についてふりかえり、これまで対人関係の中で受けてきた様々な影響や、今後めぐりあう対人関係について客観的・分析的に考える力を身につけることを目指します。</p>		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる</li> <li>・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析できる</li> <li>・他者との考え方・価値観の違いが生まれる背景や要因について推察することができる</li> <li>・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べることができる</li> <li>・他者の多様な価値観について受容的に関わることができる</li> </ul>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>第1回は、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。</p> <p>第2回?第11回までは、2回を1セットとして5つのテーマを扱います。</p> <p>各セットの流れとしては、テーマとなる基本的な概念や考え方について講義した後、個人ワーク、グループワークを行い、その後総括を行います。</p> <p>その後、第12回?第15回までは、学んだ内容を深化させてグループ毎にプレゼンテーションを行います。</p> <p>最後に、学習してきた内容についての振り返りを行い、総括レポートを作成します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>この授業では社会学の考え方・概念をベースにして対人関係が人に及ぼす影響についての講義を行います。それらの概念を基にして自分自身のこれまでの経験についてふりかえり、対人関係の中で受けてきた様々な影響や、今後めぐりあう対人関係について客観的・分析的に考える力を身につけることを目指します。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>本科目では、毎回課題を提出してもらいます。その中に授業の予習・復習の内容が含まれているので、授業に出席する際は前週の課題を提出したうえで臨むこと。</p>		
キーワード/Key word	<p>社会化、ジェンダー、生徒文化、階層、再生産</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配付します。</p> <p>また、主な参考書は以下の通りです。</p> <p>ピエール・ブルデュー(1991)『再生産』藤原書店</p> <p>ピエール・ブルデュー(1990)『ディスタンクシオン』藤原書店</p> <p>恒吉僚子(1992)『人間形成の日本比較??かくれたカリキュラム』中央公論社(中公新書)</p> <p>木村涼子(1999)『学校文化とジェンダー』勁草書房</p> <p>ポール・ウィリス(1996)『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店(ちくま学芸文庫)</p> <p>アンソニー・ギデンズ(1995)『親密性の変容??近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房</p> <p>アーヴィング・ゴッフマン(1980)『集まりの構造??新しい日常行動論を求めて』誠信書房</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>授業内ワーク及び事前ワーク30%、授業外課題70%</p> <p>全課題の総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。</p> <p>但し、(1)全体の2/3以上の出席及び、(2)ワークと課題を全体の2/3以上提出していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないこととなります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください)</p>		

受講要件（履修条件）/Requirements	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の課題でLACSを使用するため、充電したPCを必ず持参すること。</li> <li>・資料はすべてLACSにアップします。事前にダウンロードまたはプリントアウトして授業に臨むこと。</li> <li>・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。</li> <li>・授業中の私語および携帯電話の使用は厳禁です。</li> </ul>
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948  （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks(URL)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LACSを活用するので毎週必ず参照すること。</li> <li>・授業時に必ず充電したノートパソコンを持参すること。持参しない場合、欠席扱いとなる場合があります。</li> <li>・この授業では座席指定を行います。授業開始までに教室に入り、指定された座席に着席すること。</li> </ul>
学生へのメッセージ/Message for students	<p>この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について一緒にじっくり考えていきましょう。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	社会化とは何か（1）
第3回	社会化とは何か（2）
第4回	家族（1）
第5回	家族（2）
第6回	学校と友だち（1）
第7回	学校と友だち（2）
第8回	恋愛・結婚（1）
第9回	恋愛・結婚（2）
第10回	他人とのかかわり（1）
第11回	他人とのかかわり（2）&グループプレゼンテーションにむけて
第12回	グループプレゼンテーション（1）
第13回	グループプレゼンテーション（2）
第14回	グループプレゼンテーション（3）
第15回	グループプレゼンテーション（4）および授業まとめ